2019年外来入院患者統計（2019年1月～12月）

■ 外　来 ■

月	初診						再診						合計					
	附属病院			センター病院			附属病院			センター病院			附属病院			センター病院		
	消化器外科	臨床腫瘍科	乳腺外科	乳腺・甲状腺外科	消化器病センター	IBDセンター	消化器外科	臨床腫瘍科	乳腺外科	乳腺・甲状腺外科	消化器病センター	IBDセンター	消化器外科	臨床腫瘍科	乳腺外科	乳腺・甲状腺外科	消化器病センター	IBDセンター
1月	39	34		90	292	18	931	980		1,120	4,573	1,128	970	1,014		1,210	4,865	1,146
2月	35	17	15	118	319	24	957	601	317	1,197	4,585	1,052	992	618	332	1,315	4,904	1,076
3月	65	17	25	109	360	32	1,087	590	402	1,356	5,104	1,274	1,152	607	427	1,465	5,464	1,306
4月	51	12	20	130	321	27	985	566	346	1,169	4,945	1,040	1,036	578	366	1,299	5,266	1,067
5月	42	11	20	112	279	25	963	570	301	1,212	4,431	1,119	1,005	581	321	1,324	4,710	1,144
6月	52	6	22	93	314	24	931	554	383	1,291	4,488	984	983	560	405	1,384	4,802	1,008
7月	49	14	22	109	373	26	995	626	354	1,306	5,009	1,177	1,044	640	376	1,415	5,382	1,203
8月	45	13	23	127	347	18	969	588	331	1,389	4,695	1,153	1,014	601	354	1,516	5,042	1,171
9月	33	12	21	113	293	28	977	539	380	1,356	4,546	1,172	1,010	551	401	1,469	4,839	1,200
10月	40	13	20	107	351	22	975	632	342	1,318	4,777	1,058	1,015	645	362	1,425	5,128	1,080
11月	39	9	27	108	322	30	930	602	314	1,347	4,683	1,109	969	611	341	1,455	5,005	1,139
12月	42	15	12	92	324	22	927	602	359	1,308	4,411	1,122	969	617	371	1,400	4,735	1,144
計	532	173	227	1,308	3,895	296	11,627	7,450	3,829	15,369	56,247	13,388	12,159	7,623	4,056	16,677	60,142	13,684

■ 入　院 ■

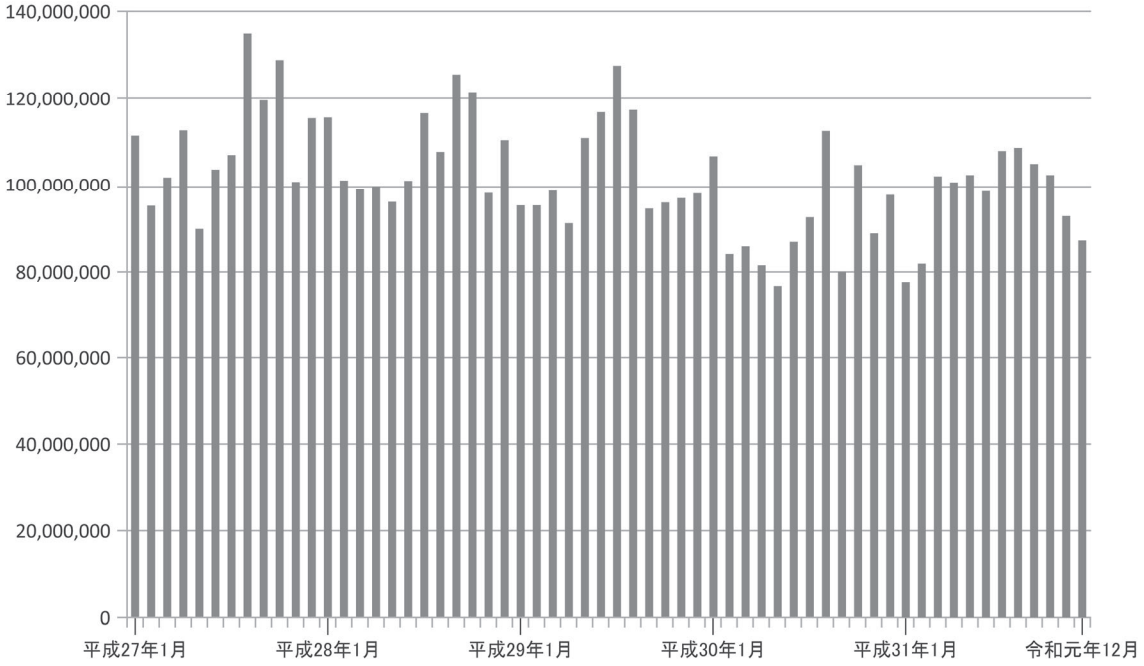
月	新入院						退院						延入院数					
	附属病院			センター病院			附属病院			センター病院			附属病院			センター病院		
	消化器外科	臨床腫瘍科	乳腺外科	乳腺・甲状腺外科	消化器病センター	IBDセンター	消化器外科	臨床腫瘍科	乳腺外科	乳腺・甲状腺外科	消化器病センター	IBDセンター	消化器外科	臨床腫瘍科	乳腺外科	乳腺・甲状腺外科	消化器病センター	IBDセンター
1月	63	61		32	298	22	58	54		27	253	10	1,179	704		211	2,656	382
2月	68	49	8	29	268	24	72	45	7	28	279	28	1,091	582	72	211	2,682	464
3月	83	52	7	40	290	44	74	63	7	40	292	40	1,365	671	89	317	2,939	492
4月	62	47	12	38	321	30	71	45	12	36	327	31	1,353	496	98	309	3,067	540
5月	78	47	11	37	306	28	71	51	9	33	294	30	1,314	563	79	298	2,954	579
6月	65	38	8	40	274	21	64	46	8	44	285	27	1,208	369	80	331	2,915	394
7月	67	42	15	43	311	47	66	38	11	37	290	34	1,376	390	104	350	2,878	598
8月	73	44	11	45	326	30	64	42	12	48	337	42	1,431	503	91	379	3,159	483
9月	61	48	8	30	319	30	66	42	8	30	305	24	1,413	652	64	282	3,306	534
10月	72	48	15	47	306	32	78	54	10	44	312	28	1,292	632	141	438	3,210	495
11月	72	35	11	46	298	24	70	48	16	40	309	32	1,231	490	163	423	3,106	525
12月	64	45	11	32	284	31	81	50	13	47	334	37	1,184	532	108	397	3,063	458
計	828	556	117	459	3,601	363	835	578	113	454	3,617	363	15,437	6,584	1,089	3,946	35,935	5,944

※ 附属病院2019年1月は旧診療科名の為合算（旧臨床腫瘍科・乳腺外科）、2019年2月以降はそれぞれの数字を記載しています。

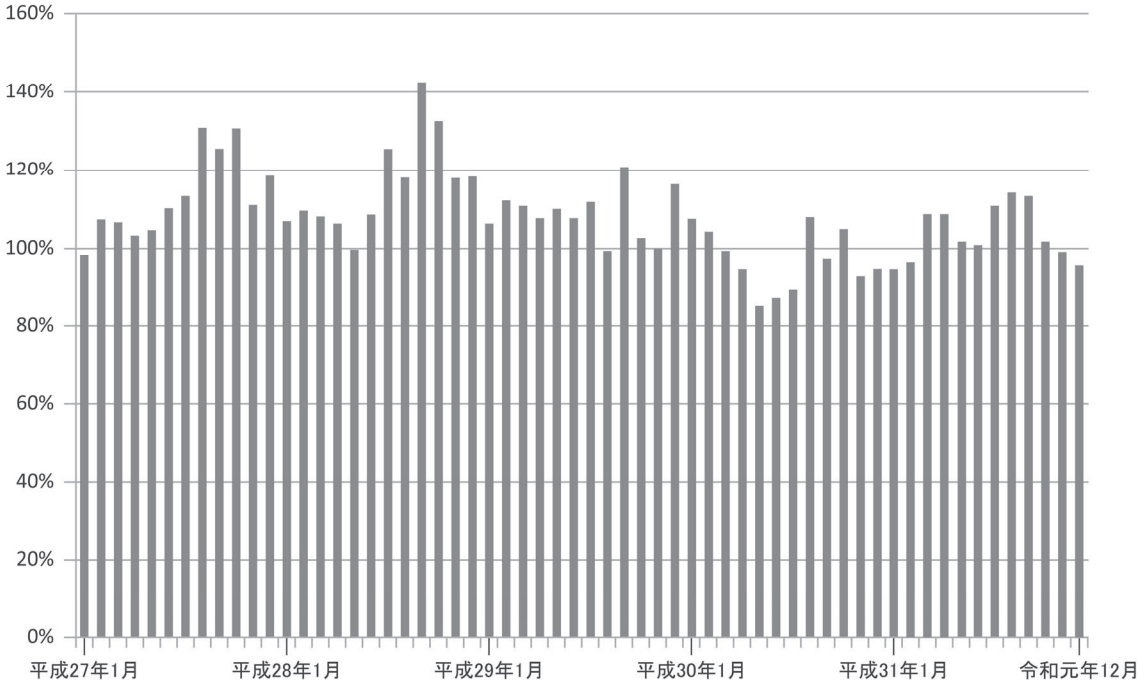
※ 延入院数は24時現在の在院患者数ではありません。退院患者も含まれています。

消化器・肝移植外科の最近5年間の診療指数の推移

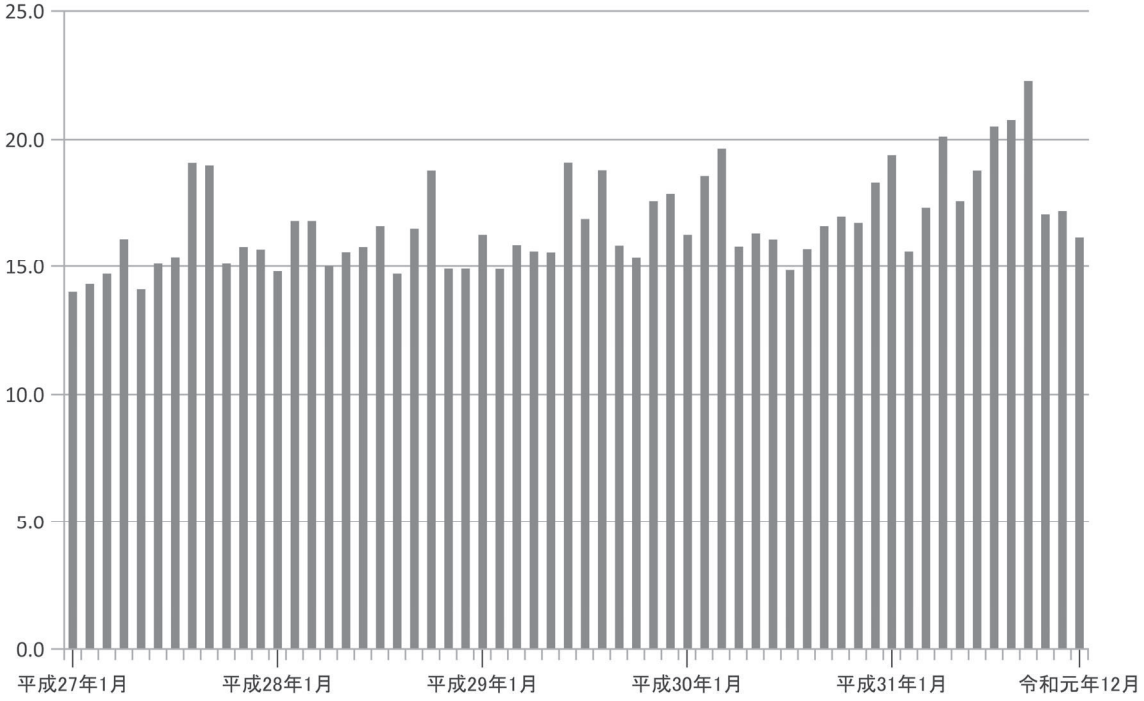
■ 稼働額（室料除く）■



■ 病床利用率 ■



■ 平均在院日数 ■


25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
平成27年1月
平成28年1月
平成29年1月
平成30年1月
平成31年1月
令和元年12月

2019年各施設入院手術統計

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ケ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院	茅ヶ崎市立病院	総計
頚部																								
甲状腺癌	亜全摘術											12												12
	全摘術											1												1
	その他			1																				1
甲状腺腫	亜全摘術																							0
	葉切除術													1										1
	その他											2												2
正中頚嚢胞	切除術																							0
耳下腺腫瘍																								0
その他				2			1			1	1			1										6
乳腺																								
乳癌	拡大乳房切断術（＋形成）								0		2													2
	定型的乳切術（＋形成）								0	3														3
	非定型的乳切術（＋形成）	55	172	9	74	77	6	14	143	103	148	56		4		31	2		194				45	1078
	部分切除術（乳房温存）	33	75	10	48	50	2	4	116	69	89	36		4		6			69			1	55	634
	その他							1	0	5		8							5				1	20
乳癌局所再発	切除術（＋形成）	1	2		2				4	3	3			2					13				1	30
	その他	2	1		3				7	1									2					14
良性腫瘍	単純乳切除術					2			2	1														5
	腫瘤摘出術	2	8		16	2			19	4	28	8			3				23				4	115
	その他								1		4	2												7
その他		2	1	1		1			41	1				65					3					113
胸部																								
原発性肺癌	肺切除術																							0
	肺葉切除術					28																		28
	部分切除術（胸腔鏡）					13																		13
	その他					3																		3
転移性肺癌	肺葉切除術													3										3
	部分切除術（胸腔鏡）					10																		10
	その他																							0
その他の肺腫瘍						7																		7
縦隔腫瘍	胸腺摘出術					2																		2
	その他																							0
膿胸	ドレナージ術					2																		2
気胸	ブラ縫縮切除術																							0
	ブラ縫縮切除術（胸腔鏡）					15																		15
その他	(肋骨腫瘍切除)			4		3																4		11
食道																								
食道癌	食道抜去術																							0
	３領域郭清		13						5		1					13								32
	２領域郭清	4	6	1	4	3			3	3		1		1										26
	頚部食道＋喉頭全摘																							0
	その他		8	2					1	1	1											1		14
良性腫瘍	切除術																							0
食道静脈瘤	離断術																							0
	術中硬化療法																							0
その他	空腸瘻造設																							0
	噴門形成術											1												1

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院	茅ヶ崎市立病院	総計
胃十二指腸																								
胃癌	腹腔鏡（補助）下噴門側胃切除術	3	13		2		1			6	4	18				16								63
	幽門側切除	1	9	17	18	28	8	11	19	26	10	16		9	5	18	3							198
	腹腔鏡（補助）下幽門側胃切除術	6	55	16	6	14			11	29	10		1	13	4	41								206
	幽門保存胃切除術	8			3																			11
	腹腔鏡（補助）下幽門保存胃切除術	1																						1
	胃全摘術	2	10	17	7	16	3	2	5	19	15	20	1	1	3	9	1							131
	腹腔鏡（補助）下胃全摘術	3	12						2	5	3			1		8								34
	LUAE																							0
	PD																							0
	胃空腸吻合術		2	1		2	1	1	2	1	6	1		1	2	1								21
	腸瘻造設術	1		1					1	4	2													9
	部分切除術														1									1
	その他（試験開腹術含む）		13	1	5	3		1	2	6	8		1	1	2	2								45
残胃癌	残胃全摘術	5	2	2		4			1	4	1					1								20
	残胃空腸吻合術	2									1				1									4
	腸瘻造設術										1													1
	その他		1																					1
胃粘膜下腫瘍	部分切除術		3		1	2		1	1	5					1	1								15
	腹腔鏡（補助）下部分切除術		6	3	4	3			5		3	9				6								39
	幽門側切除術																							0
	胃全摘術				1			1																2
	その他					1																		1
胃悪性リンパ腫	幽門側切除																							0
	胃全摘術																							0
	その他																							0
胃潰瘍	胃全摘術																							0
	広範囲胃切除術																							0
	迷走神経切離術																							0
	胃部分切除術																							0
	その他		1	2	3	5		3	1	5	16	4				1								41
肥厚性幽門狭窄	筋層切開																							0
十二指腸癌	PD		1	1						2	2	3				1								10
	胃空腸吻合術							1		2		1												4
	部分切除術	1										1												2
	その他											1				1								2
十二指腸潰瘍	広範囲胃切除術					1																		1
	迷走神経切断術																							0
	単純閉鎖術			2		3			3	3														11
	単純閉鎖＋大網被覆術		2		6	1	3	1		3	6			2		1								25
	大網被覆術（腹腔鏡）					2				2	3					1								8
	その他				1	1				2		4												8
十二指腸 GIST	部分切除術			2					1	1		2												6
その他				2			3	1		5	2	5	2									23		43
大腸																								
結腸癌	開腹腸切除術	4	8	6	13	1	11	21	41	6	4	22	1	15	3	27	2							185
	腹腔鏡下切除術	34	187	62	78	86	19	12	30	134	82	97	7	24	19	130	7							1008
	非切除人工肛門	2	12	7	3	3	3		3	43	4	7				7								94
	その他			1		1				4	1	35	3						29					74

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院	茅ヶ崎市立病院	総計
直腸癌	開腹前方切除				14		1	11	4			9		3	1	7	1							51
	開腹 ISR																							0
	開腹直腸切断術	1			6			1	7			8		2	2									27
	腹腔鏡前方切除術	14	69	27	45	38	11	7	20	29	2	14	3	13	5	15	5							317
	腹腔鏡下 ISR	1				5																		6
	腹腔鏡下直腸切断術	1	6	4	6	2			3	7	1	1				7								38
	ロボット支援下直腸切除術	19				6			3	16	32					23								99
	TaTME	1	28			5				8	1													43
	骨盤内臓全摘術	2	3		1					4	1													11
	局所切除術	2																						2
	非切除人工肛門	10	15		2	6		6		18	3	1				7	2							70
	その他（Hartmann を含む）	3	14	2				5	6	5	3	11	1			2								52
肛門管癌	開腹直腸切除術																							0
	腹腔鏡下直腸切除術	1		1																				2
	局所切除術			1																				1
	非切除人工肛門																							0
	その他																							0
再発結腸癌	腸切除術					1			1		1					1								4
	非切除人工肛門									2														2
	その他									2	7													9
再発直腸癌	直腸切除術													2										2
	骨盤内臓全摘術										1					1								2
	局所切除術										1													1
	鼡径リンパ節郭清術																							0
	非切除人工肛門			1							1													2
	その他									4	1													5
結腸ポリープ	腸切除術（腹腔鏡を含む）				1						1						2							4
	腸切開ポリープ切除術																							0
	その他												28						166					194
直腸ポリープ	腸切除術																							0
	腸切開ポリープ切除術																							0
	経肛門的切除術											2	1						8					11
	その他																							0
肛門ポリープ	切除術								1						2	3			101					107
大腸憩室炎	切除術	3	2		1	3		3		6	7	5				5	1							36
	ドレナージ術				1			1				6					1							9
	その他									6	1	1												8
大腸カルチノイド	切除術															3								3
大腸悪性リンパ腫	切除術										1			1										2
人工肛門状態	閉鎖術	16	7	25	40	10	1	5	11	60	19	19		3	10	32	7							265
潰瘍性大腸炎	造設術		2												3									5
	大腸亜全摘術		21		11																			32
	大腸全摘術		10		36											2								48
	残存直腸切除術		18		9																			27
	空腸部分切除術																							0
	その他		1		4																			5
Crohn 病	小腸部分切除		17		74											4								95
	結腸切除術		6		57	1																		64
	その他（Seton）		3		36																			39
腸結核																								0
Meckel 憩室	切除術	1								2						1								4

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院	茅ヶ崎市立病院	総計
小腸腫瘍	切除術	1			3				5	1	4	2		1	1	2	1							21
	その他				1				1	1														3
その他			3	7		3	1	1	1	39	10	2		5			1							73
肛門																								
痔核	結紮切除術			2			11	4		2	3		2		10	50	10			2396				2490
	PPH 法																							0
痔瘻	根治術		1								1				5	26	20			1193				1246
肛門周囲膿瘍	切開排膿術			1	1						3		2		2	4	20			585		1		619
裂肛																4				153				157
直腸脱	Gant-三輪法など			3	69		3	1		3	4	3		1	1	7	2			27				124
肛門狭窄			1		1											4				198				204
その他				3						3	2	3				3	1			1913		1		1929
消化管その他																								
急性虫垂炎（幼児）	虫垂切除術			25	16	18	3			4	15	7												88
急性虫垂炎（成人）	虫垂切除術	16	3	46	64	58	20	34	62	79	77	77	5	38		60	10							649
腸閉塞	癒着剥離術	6	3	9	17	13	7	8	13	18	23	20		9	2	11	1							160
	腸切除術	2	2	5	5	7	9	10	10	16	13	7		6		7	3							102
	吻合術		1	2	1	5			2	3	5	2		1										22
	その他（人工肛門造設）	2		1			2			9	14	1		3		2								34
腸重積	整復術				1	1								1		1								4
	腸切除術			1						2														3
縫合不全	腸切除術			2																				2
	ドレナージ術			3	1		1					6				4								15
	人工肛門造設術	4	4	2	1	2			5	2	2	1		2		2								27
穿孔性腹膜炎	人工肛門造設術		10	3	14	8	7		9	18	4	7		3		6								89
	ドレナージ		7	2	15	20	2		7	5	5					22								85
残胃穿孔	ドレナージ																							0
腸間膜腫瘤（腸切）					1	1				1						1								4
その他			86	12	4		1		1	5	1		44	1										155
肝胆道																								
原発性肝癌（HCC）	肝切除術	23	15	18	6	3			5	13	12	5		5	1	1								107
	肝動注																							0
	その他	3																						3
原発性肝癌（CCC）	肝切除術	7	1	1		1			7		6					1								24
	肝動注																							0
	その他	2	1																					3
転移性肝癌	肝切除術	25	31	7	11	7	1	1	12	12	14	12		8	1	12								154
	肝動注																							0
	その他																							0
胆嚢癌	胆嚢摘出術	2		2	1					2	1						1							9
	胆嚢床切除	10	2	1	1		1			1	3	4			1									24
	S４下５切除									1														1
	拡大肝切除術								4		1													5
	肝切除＋PD			3								2												5
	その他	5			1				1								1							8
胆管癌	PPPD（＋肝切除）															5								5
	PD（＋肝切除）	9		4		3			1			9		1			2							29
	総胆管空腸吻合術																							0
	その他	3									1	1												5

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院	茅ヶ崎市立病院	総計
乳頭部癌	PPPD															3								3
	PD	6	5	3		1			1	2	1	3		1			3							26
	胃空腸吻合術																							0
	その他（試験開腹）																							0
肝門部胆管癌	肝切除術	13		1	2				2		1	2				2								23
	拡大肝門部胆管切除＋PD			1																				1
	胆管切除			1																				1
	その他＊	2																						2
肝血管腫	肝切除術	2	2							2														6
肝嚢胞	肝切除術									1		2												3
	開窓術	3	2	1						1		1		1										9
肝膿瘍	ドレナージ術								2						1									3
	開窓術																							0
肝内結石	肝切除術				1																			1
	その他									4														4
胆嚢結石	開腹胆嚢摘出術		10	35	27		6	27	45	170	33	7		3	1	10	3							377
	腹腔鏡下胆摘術		22	85	101	78	40	36	99		151	161	9	37	30	116	18							983
総胆管結石	胆総胆管切開術（T）						1					1			2									4
	胆総胆管切開術（R or C）													3										3
	胆摘経胆嚢管的切石																							0
	その他									1		4												5
胆嚢ポリープ	開腹胆嚢摘出術		1		2					4				1		1								9
	腹腔鏡下胆摘術	1		11	2	12			8		10				2	25								71
	その他	2																						2
総胆管嚢腫	嚢腫切除胆道再建	4																						4
膵胆管合流異常	胆嚢摘出術				2											1								3
	その他	1				1					1													3
生体肝移植										5														5
その他（良性乳頭部胆摘総胆管切開術（R）			2																					2
膵臓・脾臓										4														4
膵癌	PD	25	7	6	10	2			12		9	12		3										86
(IPMN, MCN を含む)	PPPD									1						8								9
	TP	2			1				1	5		2				2								13
	膵体尾部切除	23	9	7	1	9	1		8		7	9		2		9								85
	部分切除	2								2	1	2												7
	試験開腹・生検	36	3		3	1				2						2								47
	消化管バイパス手術	1	1		1							1												4
膵嚢胞	切除術										1													1
慢性膵炎	PD																							0
	PPPD																							0
	その他	1							1		1													3
ITP	脾臓摘出術（開腹）							1	2															3
	脾臓摘出術（腹腔鏡）	1							3	3														7
その他				1	1	1					5	11												19
ヘルニア										6														6
腹壁瘢痕ヘルニア	根治術		1	4	1	1	1	2	5	2	23	13	5	5	8	14	1							86
臍ヘルニア	根治術			2		1	3	1	3			9	1	3	5	9								37
鼡径ヘルニア（幼児）	根治術			1			3			6	3	1												14

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合医療センター	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜掖済会病院	NTT東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かまくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	港南台病院	茅ヶ崎市立病院	総計
鼡径ヘルニア（成人）	根治術（従来法）					2				14	9	1					1							27
	根治術（腹腔鏡）			2		38	39	14	34	120	47	63	43	50	85	2	55							592
	メッシュプラグ			76	132	47	1	65	111	56	23	1		2	5		18							537
	PHS									2						177								179
	その他			16		14	18		19	6	63	129	18	17	30									330
大腿ヘルニア	根治術			4	5	6	3	1	5	8	3	4	2	1	3	1								46
閉鎖孔ヘルニア	根治術			1	1	1	2		2	1	1	3												12
その他				7	1		2		0		2													12
血管																								
下肢静脈瘤	stripping													12										12
動脈血栓症	血栓摘出術									5														5
腸間膜動脈血栓症	腸切除術																							0
門脈塞栓術		19									2													21
肝動注カテーテル抜去										81														81
その他				54			10	11		5	3		21	24			24							152
術後出血	開腹止血	2	1								1					1								5
	開胸止血																							0
後腹膜・腎																								
後腹膜腫瘍	腫瘤切除					1			1	2	1	24		3										32
その他									1	34				3										38
体表							1	4	7	12	8		16	6		27	43	25				76		225
その他				2			1				5	31		2	1*									41

*門脈圧亢進症脾臓摘出＋門脈大循環シャント造設

疾患別５年生存率

乳　癌

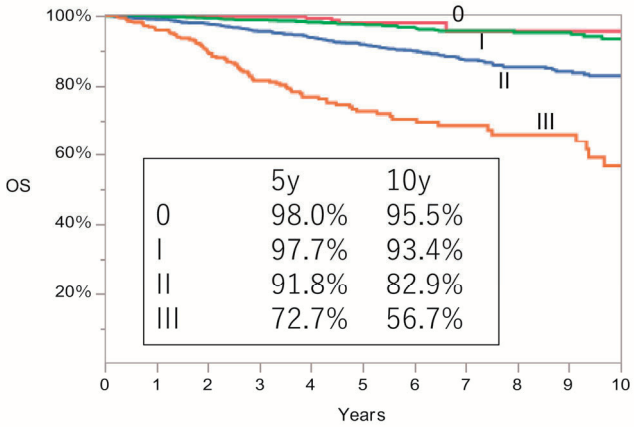
山田顕光、山本晋也、成井一隆

最近の乳癌診療においては、薬物療法の更なる個別化もさることながら、手術に関しても対応しなくてはならない事象が発生しています。2019年７月、国内の乳房再建で主に用いられてきたAllergan社のテクスチャードインプラントが、ブレストインプラント関連未分化大細胞型リンパ腫（BIA-ALCL：Breast Implant-Associated Anaplastic Large Cell Lymphoma）発症リスクのため使用できなくなり、保険適用での人工物再建を行うことができなくなりました（2020年２月からはスムーズタイプのインプラントが使用可能となっています）。また2020年４月から遺伝性乳癌卵巣癌で乳癌または卵巣癌を発症した患者のリスク低減乳房切除術が保険収載されることが決まりました。

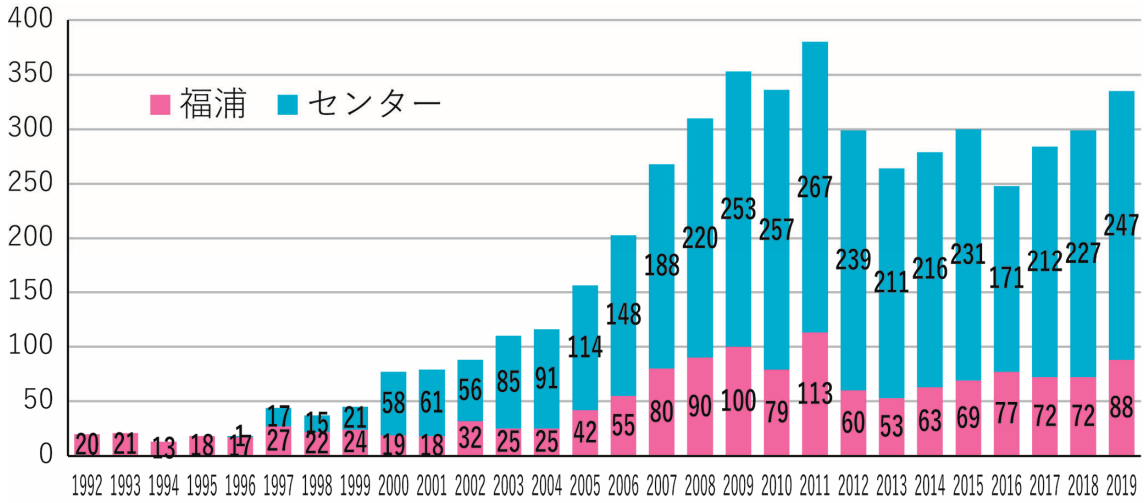
2019年の原発性乳癌の手術件数は、335件（福浦88件、センター247件）と増加傾向が続いています。また県内の関連11施設を併せると年間1500例にのぼります。この症例数の強みを生かすべく、関連病院での共通データベース化を進めています。福浦とセンター両施設における乳癌手術症例全体の５年全生存率は91.7％、10年全生存率は83.2％でした。Stage別５年生存率は、0期：98.0％、I期：97.7％、II期：91.8％、III期：72.7％で、10年生存率は０期：95.5％、I期：93.4％、II期：82.9％、III期：56.7％でした。手術内訳は2007年に温存手術のピークがあり、以後再建手術の増加に伴い温存率は低下の傾向を認めています。2019年は部分切除32.2％、再建含めた乳房切除が67.8％でした。

グループでは月に一度研究カンファレンスを行い、若手の研究指導や新規研究の相談、学会の予演会などを行っています。YCOGでの臨床研究のみならずCSPOR、JBCRG、SNNS研究会などの全国的な臨床試験にも参加するとともに、日本乳癌学会の委員会や班研究のメンバーとしても活動しています。また2018年度から引き続き横浜市医療局の取り組みとして、福浦・センター・横浜労災・みなと赤十字が横浜市乳癌連携病院として、遺伝診療や人材育成、市民啓発に連携して取り組んでおります。

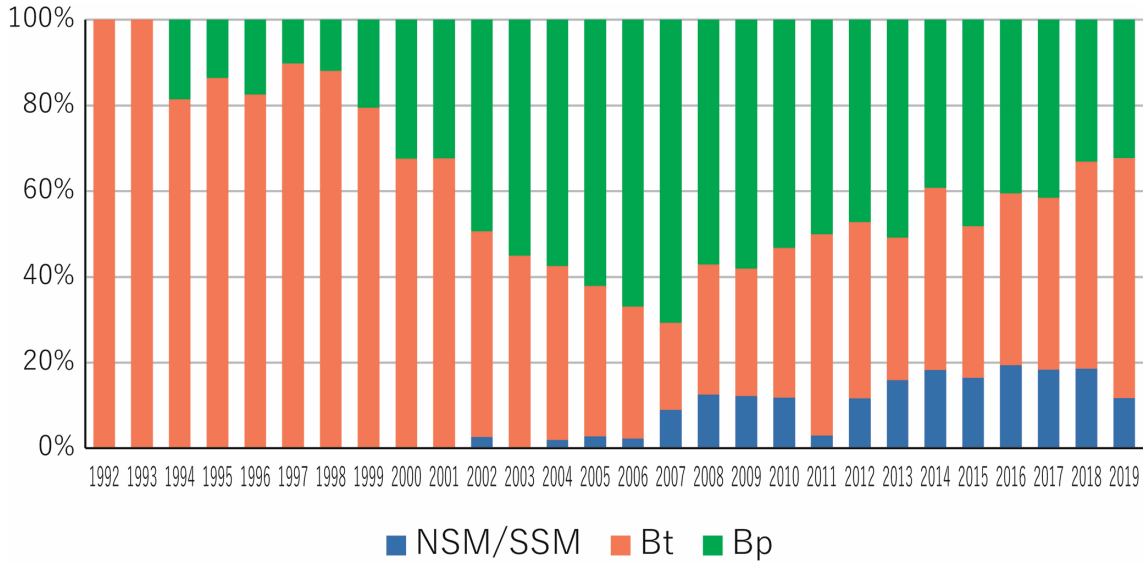
めまぐるしく変容していく乳癌診療には、高度の専門性と、きめ細やかな対応を求められています。本年も技術を磨き、知識を深め、個々の患者に最適な医療を提供できるよう、研鑽を積む所存です。



Stage別10年生存率



乳癌手術件数の年次推移



術式の年次推移

食　道　癌

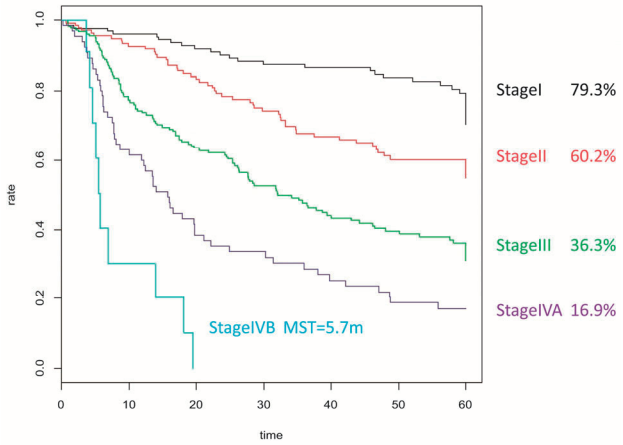
小　坂　隆　司

2019年の食道癌切除症例は福浦４例、センター18例で合計22例

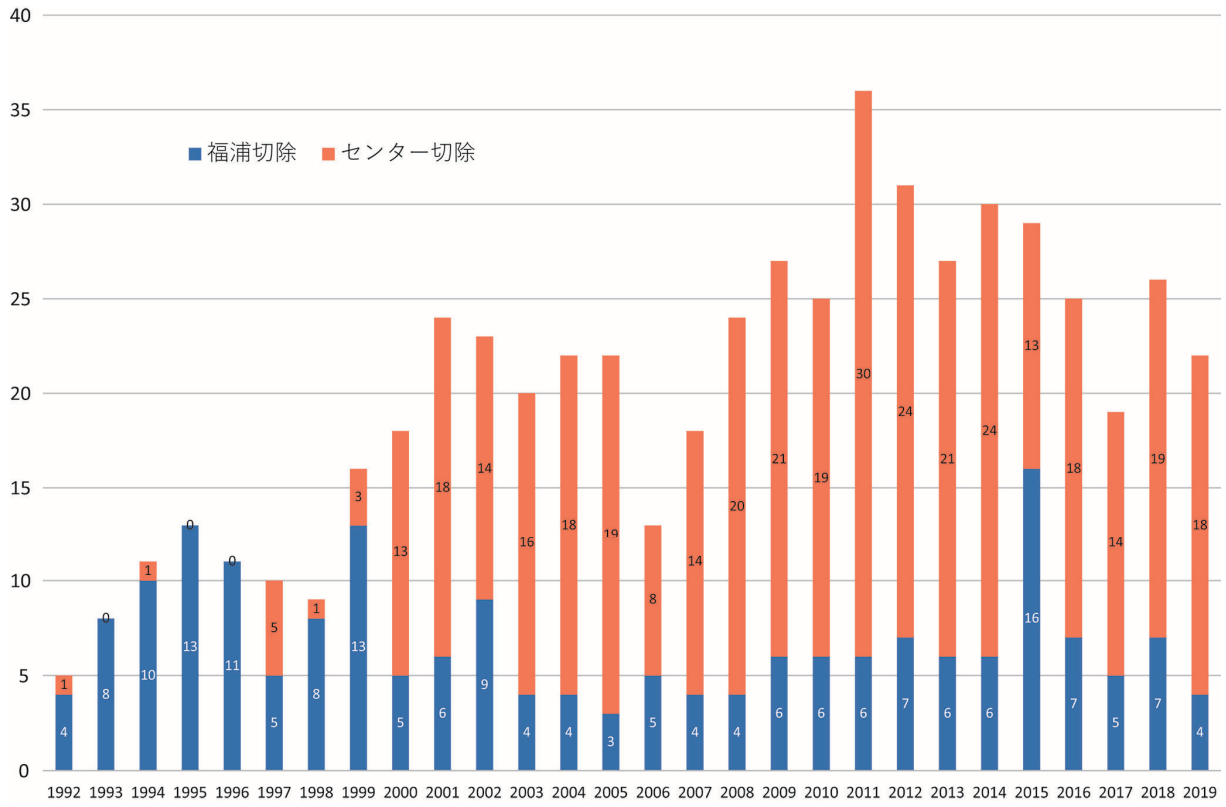
1992年からの合計は564例であった。

全切除症例の５年生存率は46％であり、Stage0-I=79.3％、II=60.2％、III=36.3％、IV=16.9％であった。

手術は腹腔鏡・胸腔鏡を用いた低侵襲手術を基本としており、周術期の腸瘻を用いた経腸栄養・ICU在室中のリハビリテーションを積極的に行っている。



食道癌切除例　Stage別生存率



食道癌切除数　年次推移

2019年　福浦: 4例、センター: 18例

1992年から　計564例

胃　癌

小　坂　隆　司

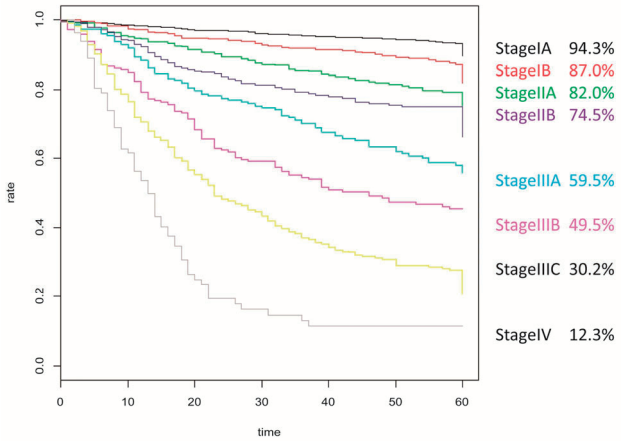
2019年の胃癌切除症例は福浦30例、センター106例で合計136例

1992年からの合計は3633例であった。

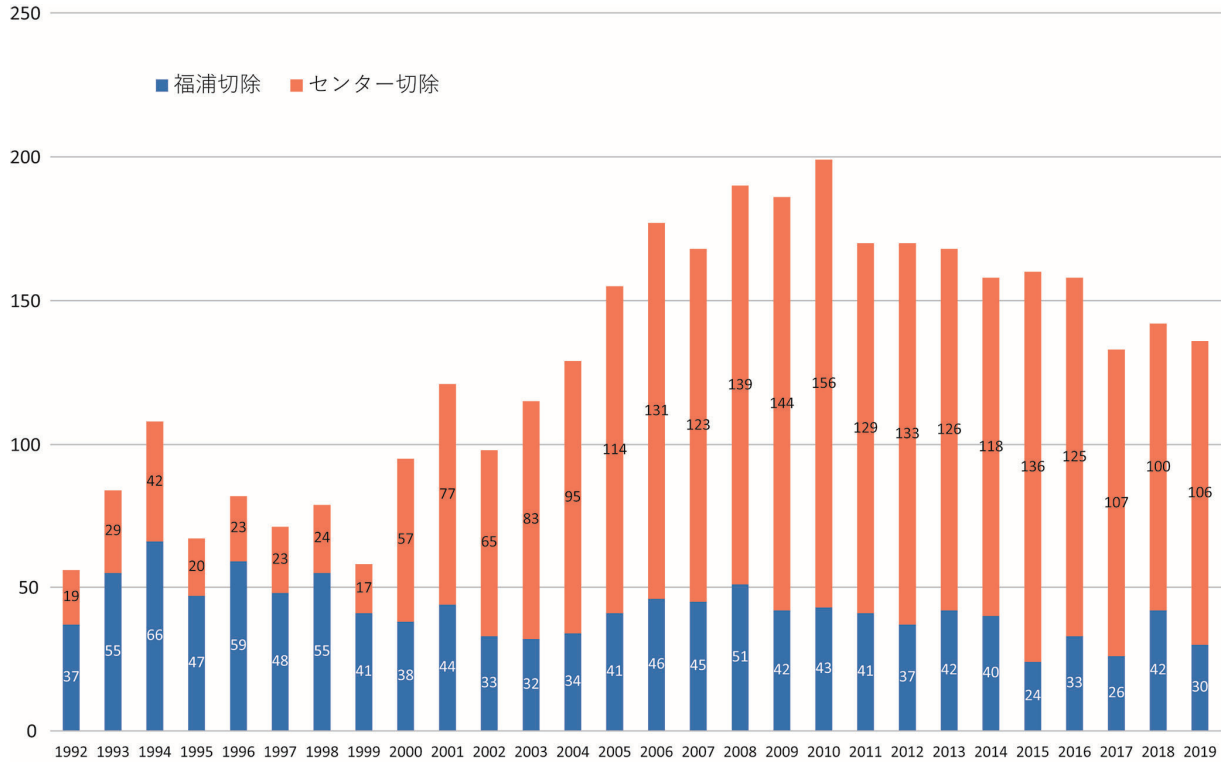
全切除症例の５年生存率は74.4％であり、StageIA＝94.3％、StageIB＝87.0％、StageIIA＝82.0％、StageIIB＝74.5％、StageIIIA＝59.5％、StageIIIB＝49.5％、StageIIIC＝30.2％、StageIV＝12.3％であった

早期胃癌を中心に腹腔鏡手術を取り入れており、全手術数の約６割は腹腔鏡手術である

また最近増加傾向に対する上部胃癌に対する噴門側胃切除＋ダブルトラクト再建や、中部早期胃癌に対する幽門輪温存胃切除術など、できるだけ胃を残す手術を積極的に施行している



胃癌切除例　Stage別生存率



胃癌切除数　年次推移

2019年　福浦: 30例、センター: 106例
1992年から　計3633例

大　腸　癌

石　部　敦　士

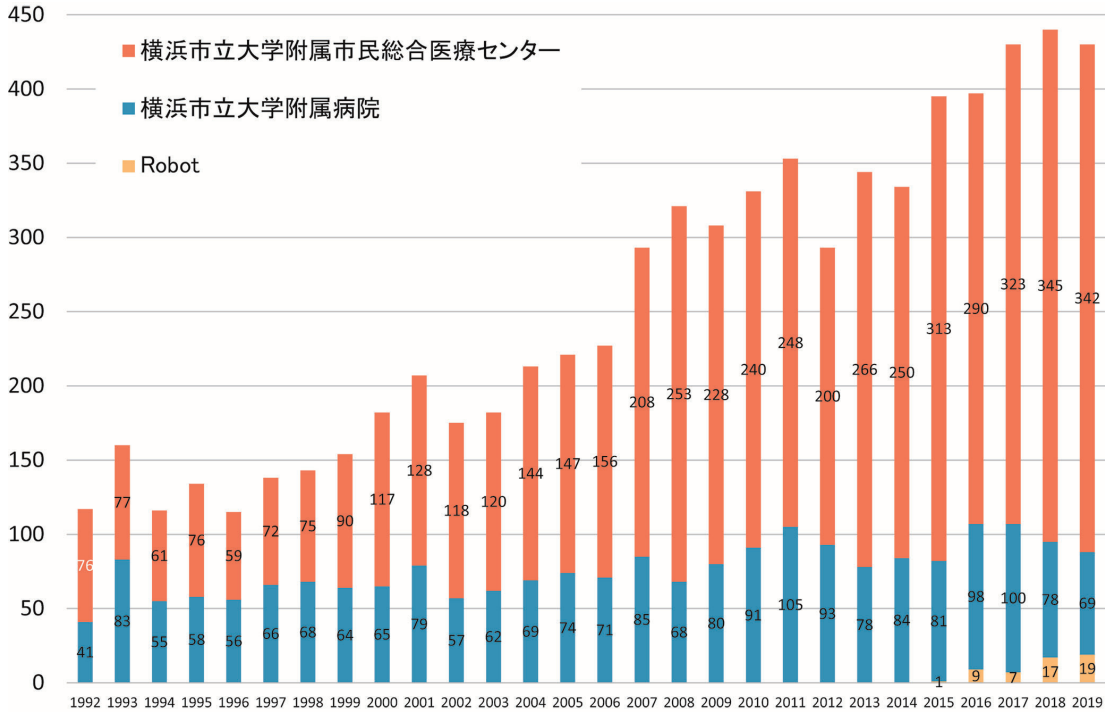
2019年の手術件数は福浦88件、消化器病センター342件、合計430件とでした。Stage別の5年生存率は結腸癌：I＝95.5％、II＝86.5％、IIIa＝79.6％、IIIb＝63.2％、IV＝29.8％（手術症例のみ）、直腸癌：I＝92.6％、II＝86.1％、IIIa＝78.1％、IIIb＝59.2％、IV＝23.8％（手術症例のみ）となっております。

本年は、大学で研鑽を積んでいた小澤真由美先生（H15年卒）、柿添学先生（H16年卒）、後藤晃輝先生（H20年卒）、福岡宏典先生（H22年卒）の4名が難関である内視鏡外科学会技術認定医に合格いたしました。今でご指導いただいた先生方、また後輩の先生方のご協力があってのことと感謝申し上げます。

作年度から始めた月1回開催される論文勉強会では、徐々にその成果があらわれ、これまでに計10本の英語論文がアクセプトされました。また臨床研究においてはYCOG新規臨床研究や全国の他施設共同研究に参加し、新しいevidenceを確立できるよう努めています。

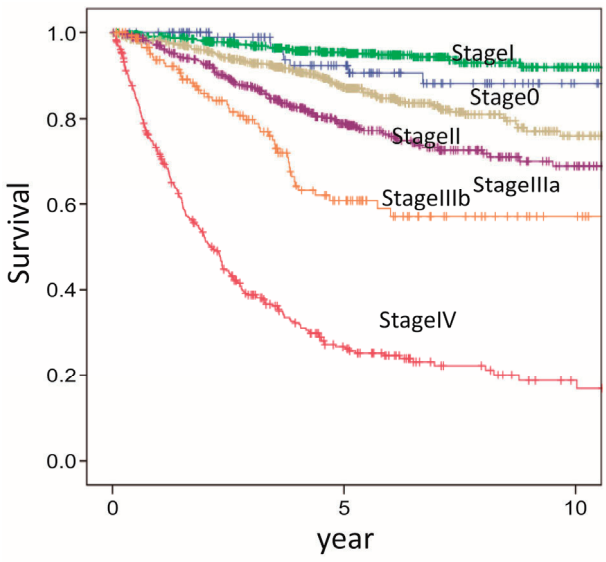
診療においては新しい手術アプローチとして、経肛門からTMEを行うtransanal TME（taTME）やロボット手術が全国的に徐々に普及しつつあります。センター病院では渡邉純を中心としてtaTMEを施行しており、附属病院では2020年1月からda Vinciの最新モデルであるda Vinci X とXiの2台が導入され、さらに多くの症例でロボット手術が施行できるようになりました。局所進行直腸癌の治療においては本邦の標準とされているTME＋側方郭清のみならず、さらに治療成績を向上させるためTNT（Total neo-adjuvant therapy）として術前化学療法・放射線化学療法後にTMEを施行する症例も多くなってきております。

本年も大腸癌治療の成績向上を目指し、手術手技、知識の研鑽、後進の育成を行ってまいります。

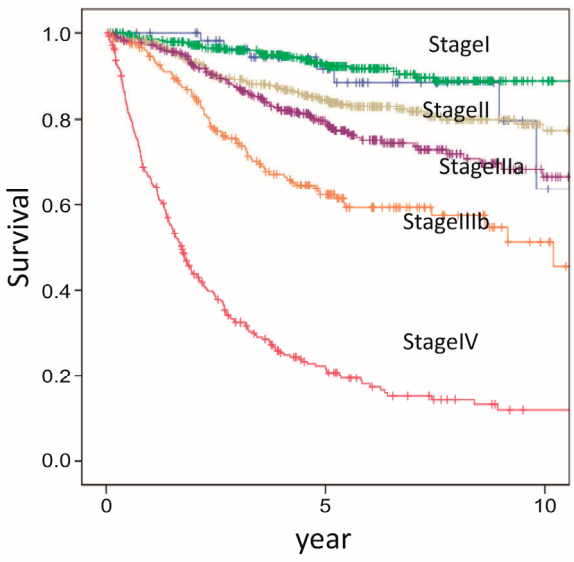


大腸癌手術症例数

2019年　センター：342例　福浦：88例（ロボット手術19例）
1992年から　計7100例



Colon



Rectum

炎症性腸疾患

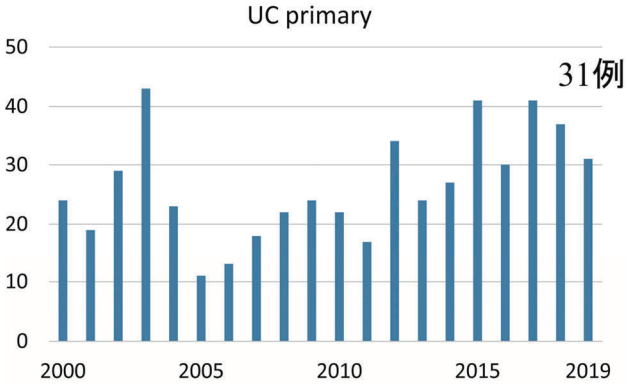
木　村　英　明

2019年のセンター病院炎症性腸疾患（IBD）センターの総手術件数は95件でした（潰瘍性大腸炎初回手術31例、2期目再建手術18例、Crohn病31例、その他腸管Behcet病／単純性潰瘍、憩室炎による瘻孔など）。

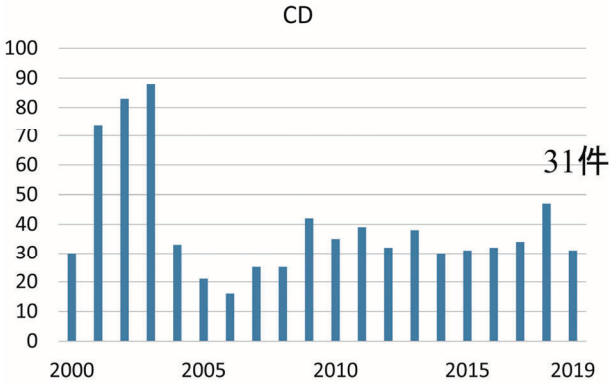
2000年からの潰瘍性大腸炎の累積手術例は530例、当科初回手術例は512例で、手術適応は難治319例（62％）、重症153例（30％）、癌、dysplasia40例（8％）、1期的手術は270（53％）、緊急手術は139例（27％）でした。用手腹腔鏡手術（HALS）は169例（1期的大腸全摘回腸嚢肛門管吻合140、大腸全摘回腸嚢肛門吻合＋人工肛門29）で、2007年以降の1期的手術の90％をHALSでおこないました。術後1年における一日排便回数は7.8、漏便（soiling）は9％で、回腸嚢使用例の回腸嚢機能率は術後10年で98.7％でした。

2000年からのCrohn病の累積手術例は787例で、腸管病変に対する手術は690例、標準術式は小範囲切除、狭窄形成術で、164例（24％）を腹腔鏡手術でおこないました。肛門病変に対する手術は157例で、標準術式はseton法ですが、47例（30％）に人工肛門造設をおこないました。腸切除例における5年累積再手術率は14.5％、10年累積再手術率は34.2％でした。再手術の半数は前回の吻合部と関連のない病変によるものであり、吻合法のみならず術後の寛解維持療法が重要ですが、術後生物学的製剤使用の有無で再手術率に差はなくなってきており（5年再手術率、投与あり：なし＝14.5％：14.1％、p＝0.94）、抗薬物抗体産生等による効果減弱（2次無効）、生物学的製剤投与中の手術例の増加と同症例の術後有効率低下がその理由と考えられます。術後の維持療法のさらなる適正化を図るとともに、新規薬剤の寛解維持効果に期待したいところです。

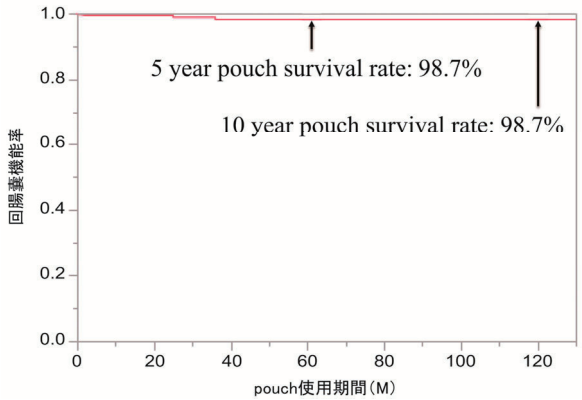
引き続き安全でQOLの高い手術をおこなっていきます。



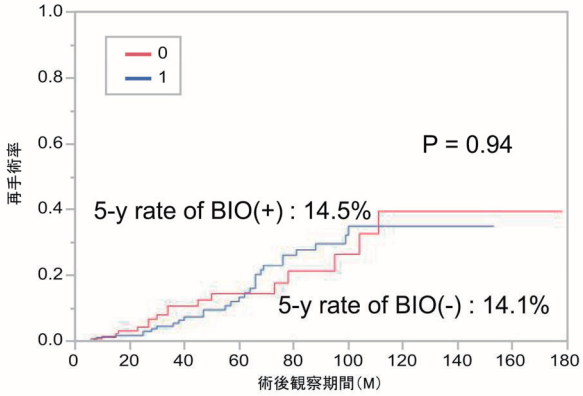
潰瘍性大腸炎初回手術症例数の年次推移



Crohn病手術症例数の年次推移



潰瘍性大腸炎術後回腸嚢機能率（n=470）



Crohn病　術後BIO投与の有無別再手術率

原発性肝癌

熊　本　宜　文

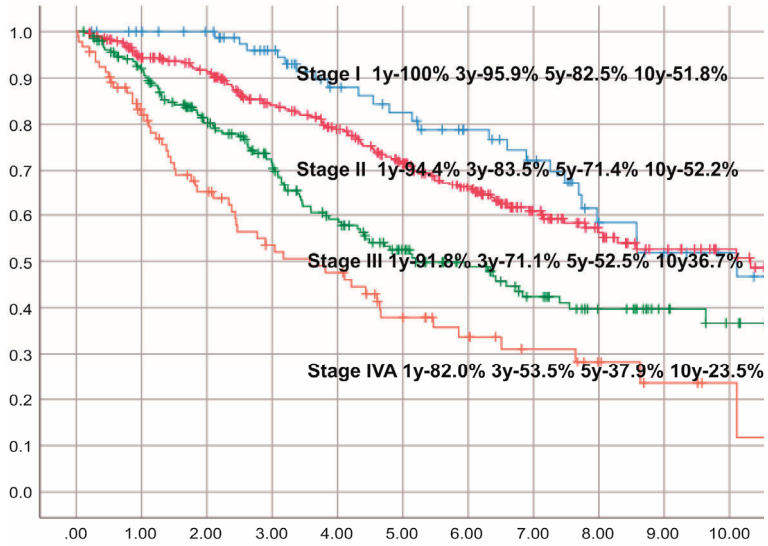
B型C型肝炎持続感染に起因する肝細胞癌は全国的に減少傾向にあり、当科の肝細胞癌の手術症例も長期的には減少傾向にあるが、2019年度の肝細胞癌の症例登録は36例で前年度より増加し、1992年から2019年までの肝細胞癌初回肝切除症例は748例、再肝切除症例は75例となった。初回肝切除症例の背景肝炎の原因はB型肝炎12例、C型肝炎8例、NBNCが15例、B型C型共感染が1例であり、NBNCが原因として一番多かった。NBNCの多くは非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）由来であり、NASH由来の肝癌症例では、ウイルス性肝炎症例と比較すると肝機能は保たれているものの、肝臓の定期経過観察がなされていないため約半数の症例が腫瘍径5cmを超えていた。

初回肝切除症例の5年生存率は60.4％、無再発生存率は34.2％で年々上昇しており、Stage別の5年生存率はStage I　82.5％、Stage II　71.4％、StageIII 52.5％、StageIVA　37.9％で他施設と比較しても遜色ない結果であった。予後規定因子は、肝内転移陽性、Liver damage BC、AFP400以上、腫瘍個数4個以上、最大腫瘍径50mm以上であった。

術前肝機能評価に関しては、アシアロSPECT/MDCT融合画像による分肝機能評価を行い、術前肝不全予測に応用している。特に門脈塞栓術後は、体積変化以上に肝機能は非塞栓葉へ移行しており適応の拡大の可能性が示唆されている。

術後管理に関しては肝不全死予防のため、早期予測、早期介入を目指しており、術直後の採血でT.Bil>1.5mg/dlかつAT-III<50％はISGLS定義の肝不全B，Cとなる危険群であり早期介入が必要と考えている。

再発後治療に関しては、肝癌治療アルゴリズム2017に沿って行っているが、初回肝切除時にvp陽性かつ初回肝切除から12カ月以内の再発症例に関しては早期に再発することが多いため、手術以外の治療を行っている。また、肝外転移症例に対しては1次治療薬としてレンバチニブまたはソラフェニブ、2次治療薬としてレゴラフェニブ、ラムシルマブを用いている。



初回肝切除症例Stage別生存率
（癌遺残、在院死、Ablation単独症例除く）

転移性肝癌

武　田　和　永

当科では、大腸癌肝転移に対して、1991年から2019年末まで附属2病院で714例に初回肝切除を実施してきました。2019年は大腸癌肝転移に対しては、初回肝切除41例、再肝切除6例の肝切除を施行し、非大腸癌症例を含めると、累計48例の肝切除を施行しました。大腸癌肝転移初回肝切除症例の5年生存率は51.0％でした（図1）。

現在は、腹腔鏡手術も積極的に取り入れる方針としており、2019年は12例（29.3％）に行いました（図2）。今後は年間40-50％を目標に腹腔鏡下肝切除を行っていく方針です。

また、これまでの治療成績を解析し、BR UR基準をみなおす方針としました。

BR基準

①肝内腫瘍≧4個　②最大腫瘍径≧8cm　③原発組織がpor or muc　④肝外転移（制御可能）　⑤血行再建が必要な肝静脈浸潤またはIVC浸潤あり。

UR基準

①耐術不可能　②肝外転移（制御不可能）　③予想残肝容量不足（ICGK<0.05 または兵庫医大予後得点≧50）

これらを満たす症例に対しては、化学療法を先行させることとしました。

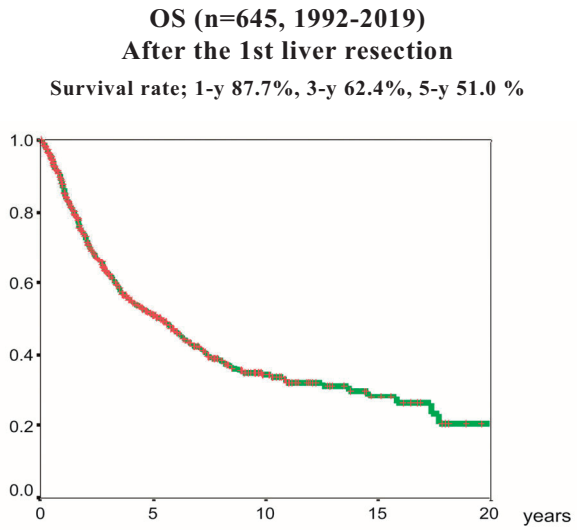


図1　大腸癌肝転移初回肝切除後生存率

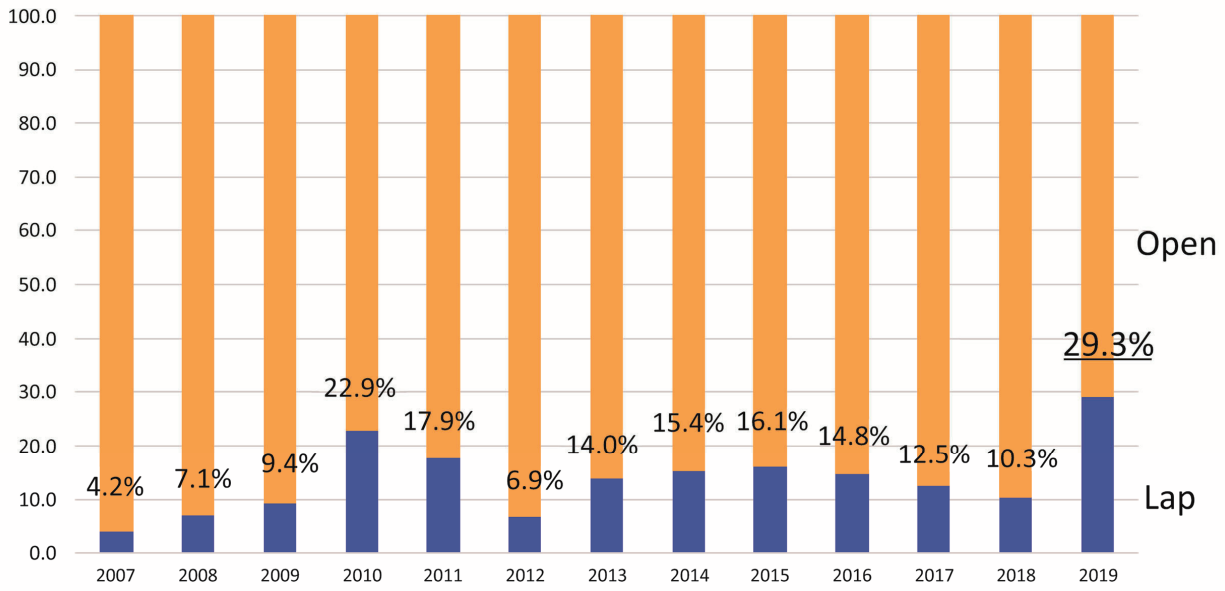


図2　腹腔鏡手術の内訳

さらに、肝動注療法として、これまでChrono-therapyを行ってきましたが、肝動注レジメンを見直し、FOLFOX肝動注を申請予定です。これは、従来のFOLFOXレジメンのうち、オキザリプラチン、レボホリナートを全身投与し、5-Fuを肝動注で行います。このレジメンは、基本的に外来で施行可能という利点があります（図3）。

また、従来からすすめている2期的肝切除、血管合併切除・再建のような術式も積極的に行い、安全かつ確実な肝切除の可能性を探っております（図4）。大腸がん肝転移症例の他に、婦人科疾患、神経内分泌腫瘍、胃癌などからの肝転移の患者に対しても、肝切除が有効な治療となる場合があり、このような場合には、積極的に切除療法を選択しています。

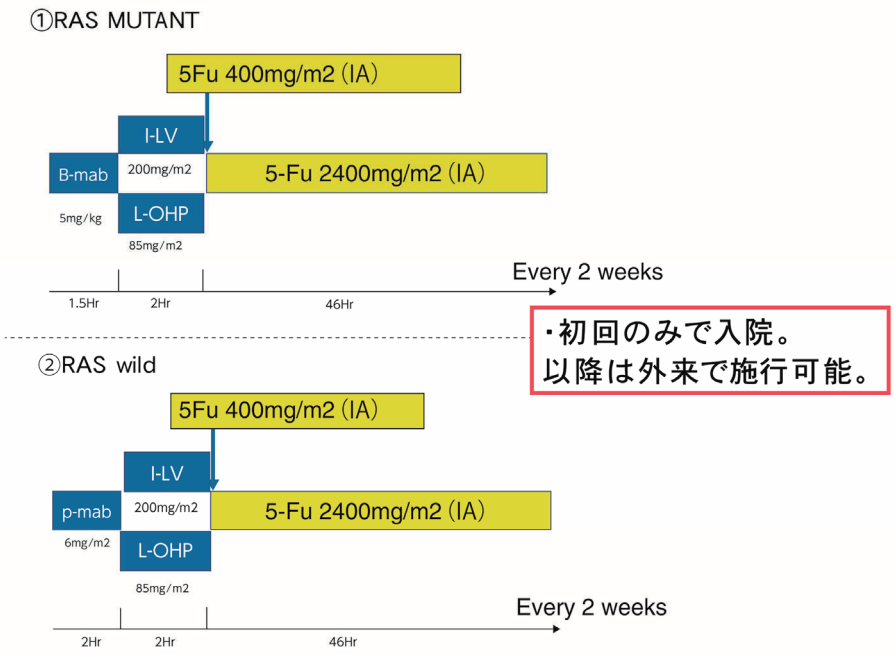


図3　肝動注

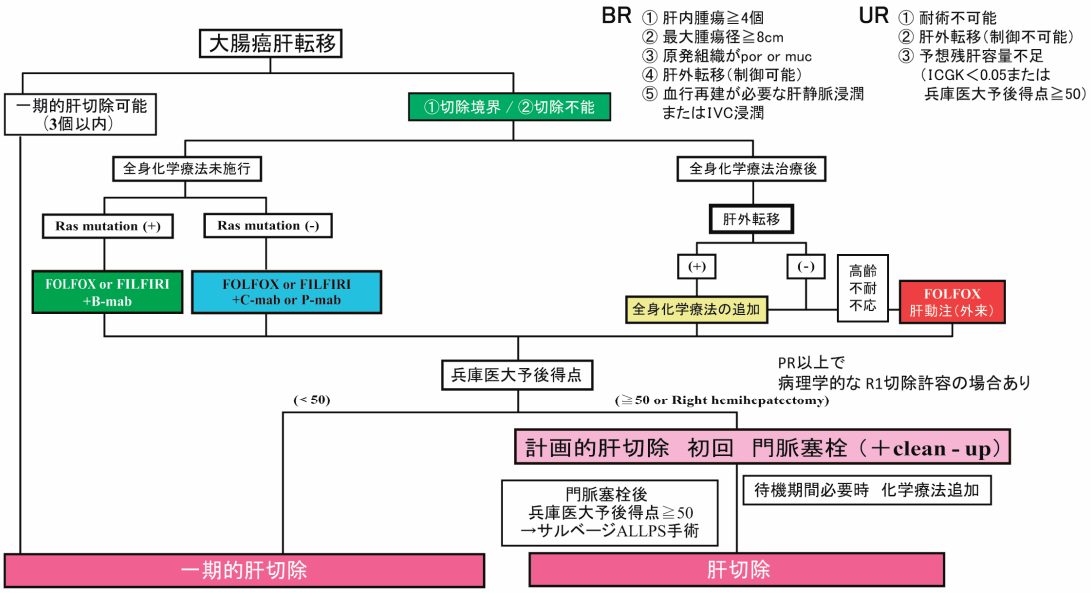


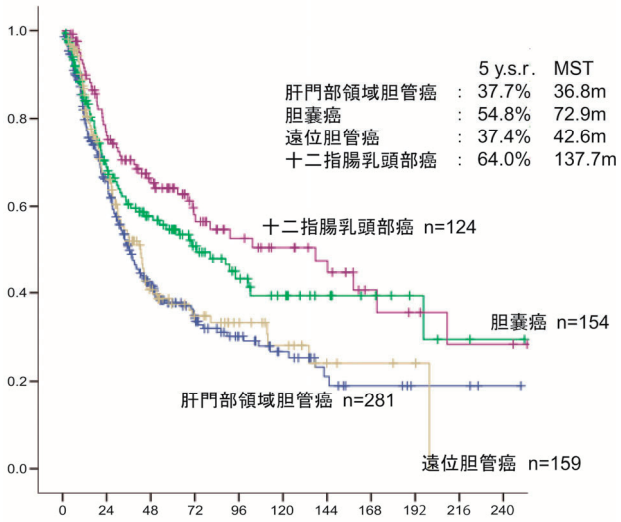
図4　大腸癌肝転移治療方針

胆道悪性疾患

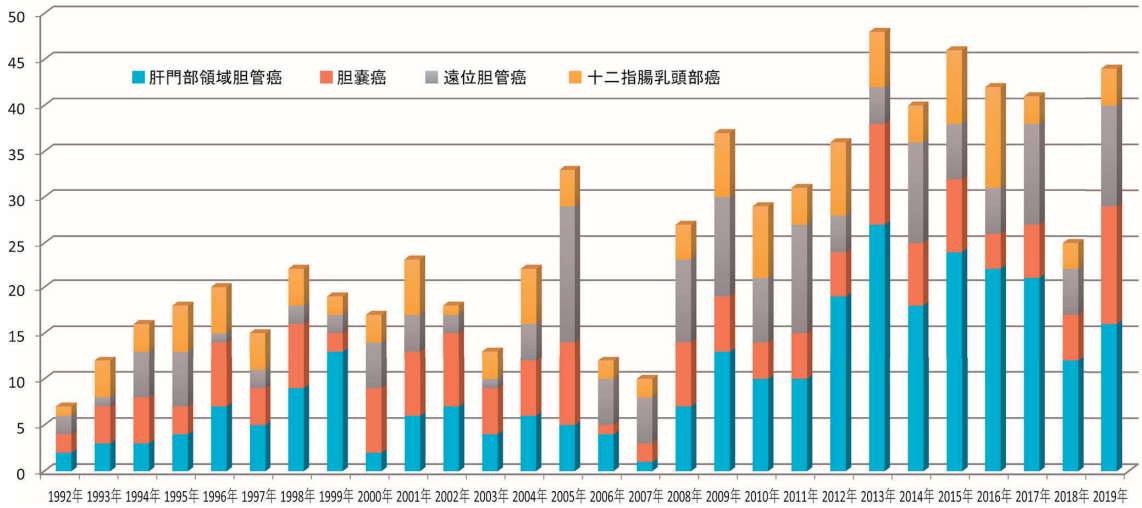
藪下泰宏、松山隆生

胆道悪性疾患の2019年度の切除手術症例数は肝門部領域胆管癌16例、胆嚢癌13例、遠位胆管癌11例、十二指腸乳頭部癌４例、末梢型肝内胆管癌５例、合計49例でした。横浜市内・神奈川県下から多数の貴重な症例をご紹介頂き、胆道癌切除数は増加傾向です（図1）。他院では治療が困難と判断された症例も多く、術前治療から胆道ドレナージなどの管理、手術、術後補助化学療法に至るまで様々な難しい問題を解決しながら治療を行っております。消化器内科、放射線科と協力しながら診療にあたり、胆道癌全体の５年生存率：46.1％、10年生存率：34.3％、MST：45.3ヶ月となっております。各癌腫別にみますと、肝門部領域胆管癌は1992年からの切除数は281例となり、切除症例全体の５年生存率は37.7％、MSTは36.8ヶ月。胆嚢癌は1992年からの切除数は154例となり、切除症例全体の５年生存率は54.8％、MSTは72.9ヶ月。遠位胆管癌は1992年からの切除数は159例となり、切除症例全体の５年生存率は37.4％、MSTは42.6ヶ月。十二指腸乳頭部癌は1992年からの切除数は124例となり、切除症例全体の５年生存率は64.0％、MSTは137.7ヶ月となっております（図2）。

胆道癌に対する最も効果的な治療法は外科的切除であるものの、外科的切除だけでは成績改善は難しく、術前術後加療も含めた集学的治療が今後必要になってくると思われます。当科でも、胆道癌に対する術前化学療法、術後補助療法を導入して成績向上に努めております。また初診時に切除不能と判断した症例に対しても化学療法を導入し切除を得られる症例も増加してきております。今後も胆道癌治療成績向上を目指し、手術手技の研鑽、知識の向上、臨床研究、教育に貢献していきます。



胆道癌切除症例成績



胆道癌切除数 年次推移

膵　癌

本　間　祐　樹

2019年1月から12月までの膵癌切除例は46例（福浦 37例、センター 9例）であった。膵癌切除症例数（図1）を示すが、2017年に減少傾向にあったものの、最近5年程度は横ばいであり、累積切除症例数は605例となった。

Resectability別の累積生存率（図2）を示すが、切除可能（R）、切除境界領域（BR）であっても、生存中央期間がそれぞれ34.2か月、22.6か月であり、満足できるものではない。しかしながら、時代背景別に予後をみると（図3）、FOLFIRINOXやアブラキサンが登場し、生存中央期間が44か月となった。膵癌の切除成績は着実に改善している。

教室では切除例に対し、積極的に術前化学放射線療法を導入し、2008年からジェムザール＋S1, 2016年からジェムザール＋アブラキサンを用いたNACRTを導入した。

さらに2018年より切除可能膵癌に対してもジェムザール＋S1によるNACRTを導入し、更なる予後改善を目指している。また初診時に切除不能と診断した症例で長期化学療法により切除を行ったConversion surgery症例も40例となり、長期生存例も見られている。

一方で低侵襲手術として2018年より膵尾部癌に対し、腹腔鏡下膵体尾部切除（RAMPS）を導入し、現在8例ではあるが、安全に施行できている。また術後管理においても膵頭十二指腸切除（PD）パス、膵体尾部切除パス（DP）パスを導入し、効率化を図っている。また術式に関してはアニメーション動画を導入し、わかりやすい患者説明を心がけている。

今後も膵癌に対して集学的治療により、予後改善を目指し、手術手技の向上のみならず、知識の研鑽、研究および教育に努めてまいります。

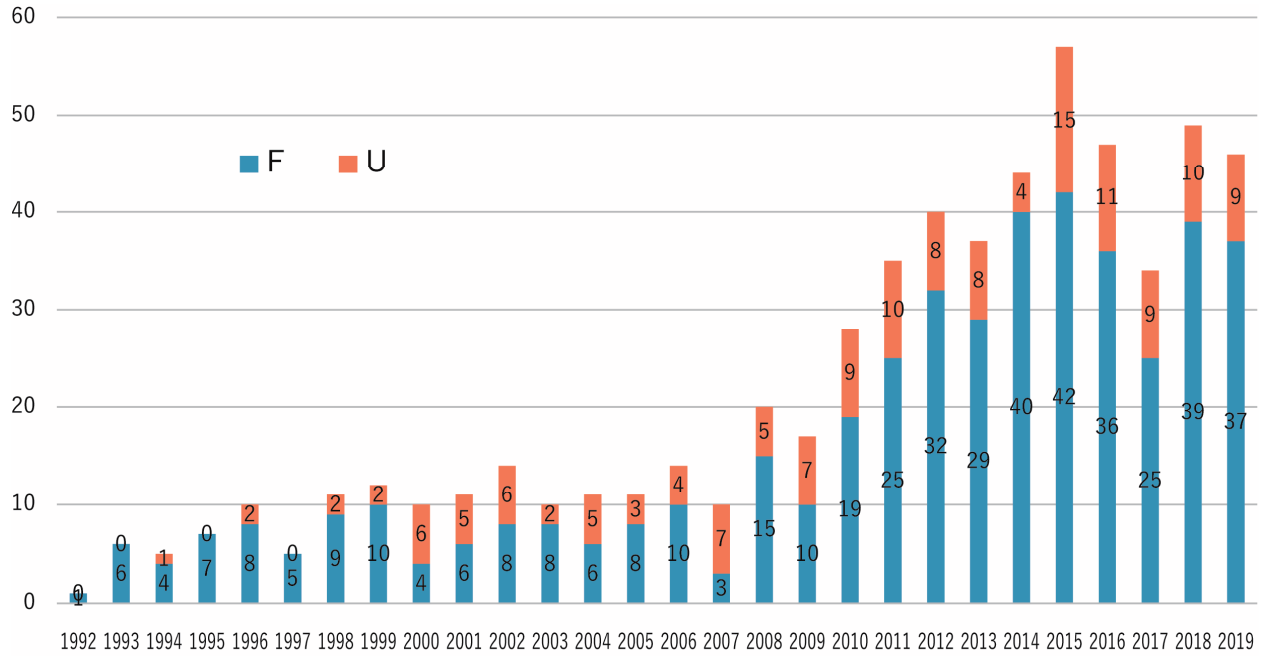


図1　膵癌切除数　年次推移

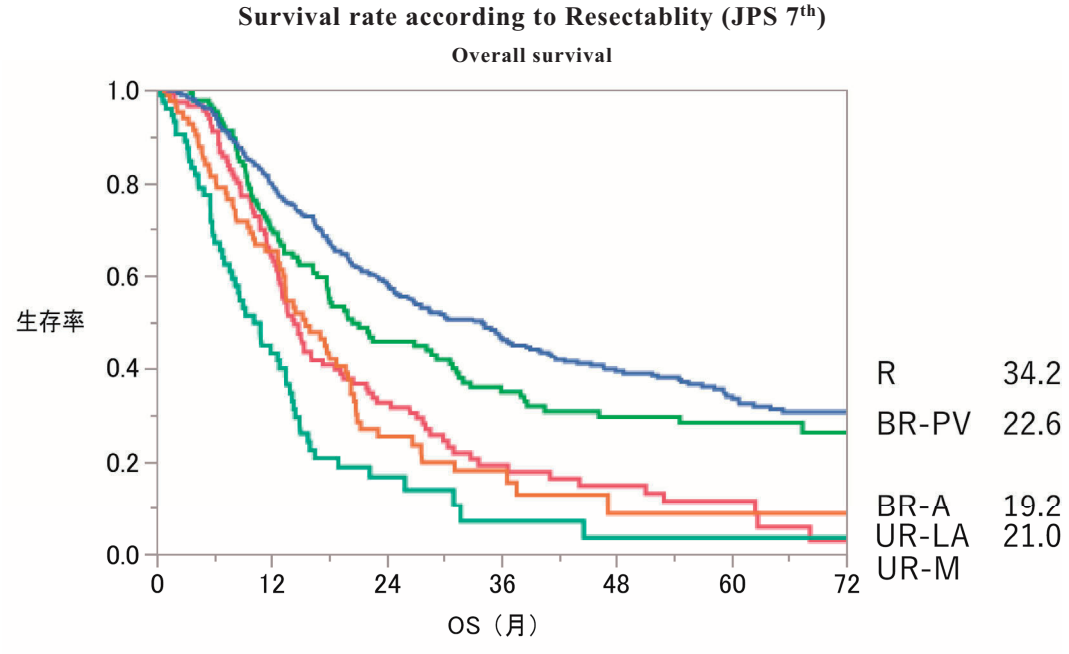


図２　Resectability別の累積生存率

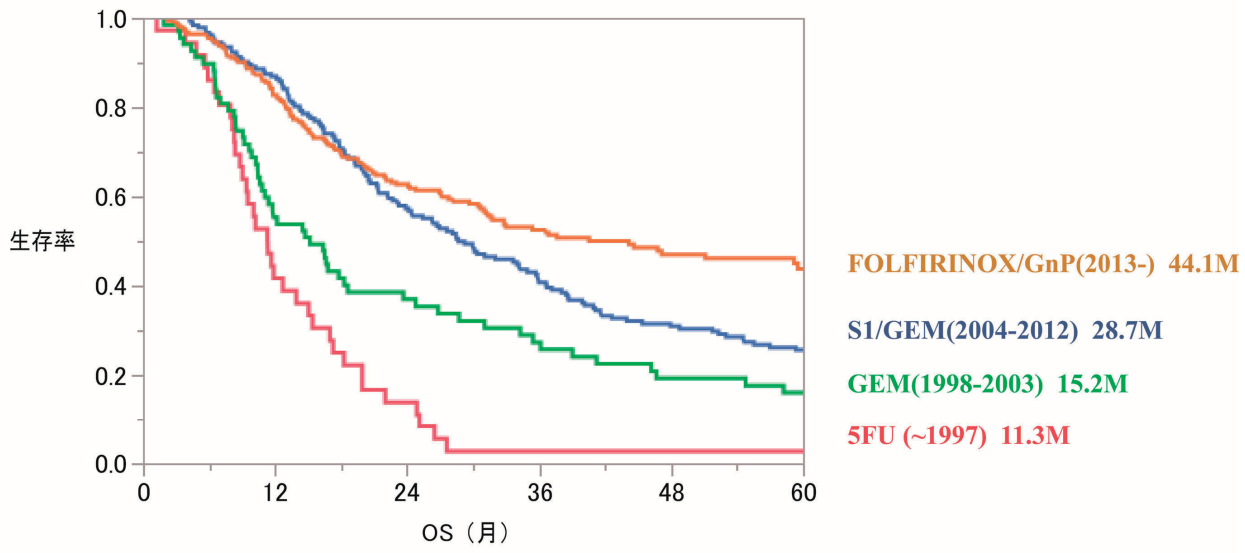


図３　時代別にみた予後（切除例のみ）

生体肝移植

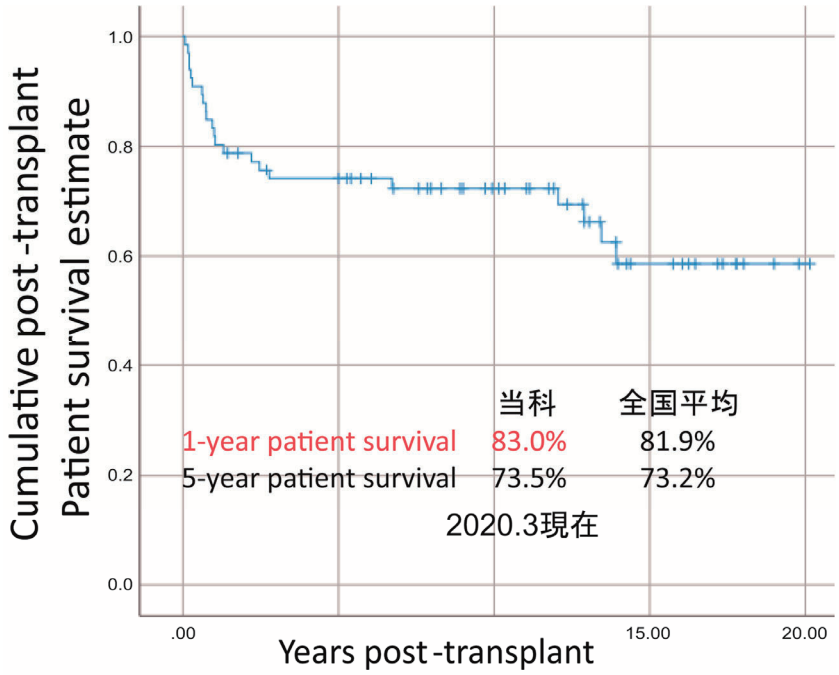
熊　本　宜　文

2019年度は、5例の生体肝移植目的の紹介がありました。3例がドナー肝容量不足、1例はまだ移植の必要はなく、1例は抗ドナー抗体強陽性で生体部分肝移植へ至る症例はありませんでした。

当科の肝移植は、1997年から開始し2019年1月現在、計66例となりました。1年生存率は83.0％、5年生存率は73.5％（図）と、成人生体部分肝移植全国平均生存率を上回っております。原疾患の内訳は、肝細胞癌（n=15）、B型肝炎肝硬変（n=13）、劇症肝炎（n=10）、原発性胆汁性肝硬変（n=8）、C型肝炎肝硬変（n=6）、アルコール性肝硬変（n=5）、原発性硬化性胆管炎（n=2）、自己免疫性肝炎（n=2）、胆道閉鎖症（n=2）、その他（n=3）となっています。

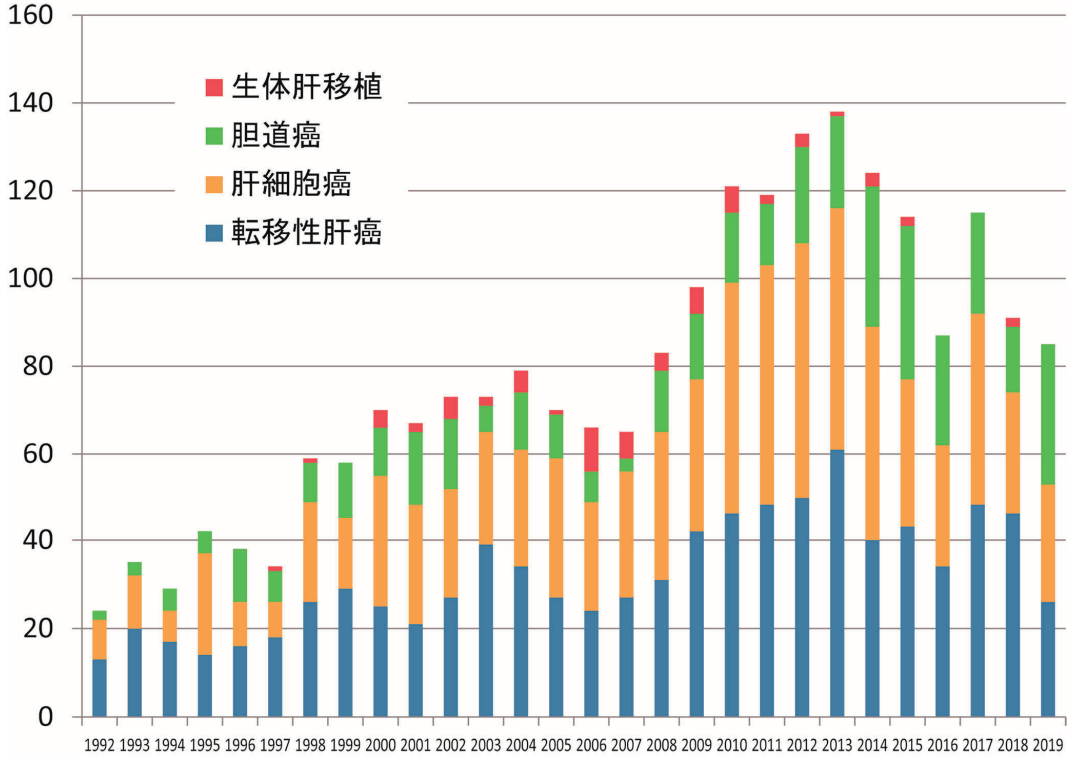
術後早期回復のため生体部分肝移植術にもERASを導入しております。内容としましては、①外来で術前術後経過の説明。②リハビリテーション科による入院前リハビリテーション。③口腔外科による術前歯科検診。④術前からのBCAA、亜鉛投与。⑤術前シンバイオティクスの導入。⑥SVVによる術後管理。⑦術翌日からのリハビリテーション。⑧術翌日の抜管。を行っております。導入後の11例では、生存率100％を維持しています。

現在、脳死肝移植施設認定に向けて症例を集積しております。脳死肝移植実施施設は全国25施設で、関東地方は、東京大学、慶応大学、自治医科大学、成育医療センター、順天堂大学、信州大学、東京女子医大の7施設で、神奈川県には認定施設はありません。当院のみが、神奈川県下で成人の肝移植をおこなっており、横浜は全国一番の人口を有する政令指定都市であるという社会的背景から、当院でも脳死肝移植施設認定を目指しております。脳死肝移植施設認定には症例の蓄積が必要であるため、関連病院から移植となるような急性・慢性の肝不全、Child C肝細胞癌症例のご紹介をお待ちしております。

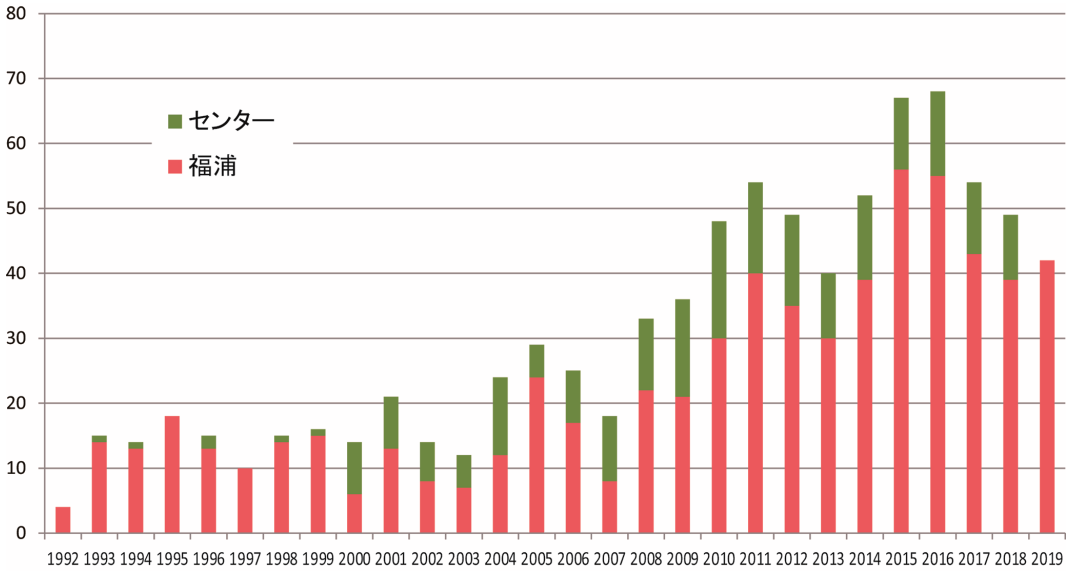


生体肝移植後レシピエント長期成績

年間手術件数の推移



年間肝切除数の推移



膵頭十二指腸切除症例数